

職員による自己評価

A 環境面

- ・職員配置は適切な人員を配置している。
- ・利用定員の活動スペースは体格の大きい児童もいる為、狭く感じる時がある。
- ・環境操作(踏み台)を加えている箇所もあり工夫を施している

B 業務改善

- ・朝礼や終礼を通して情報共有し改善を行っている。
- ・店舗会議を月に必要な回数を行っている。
- ・業務改善を図る為には、「上手くいっていない」所を気付かないといけないが、そこを問題として捉える事がまず必要。
- ・資質向上を図っているがそれを扱う場面が無く結果として伸びていない。

C 適切な支援の提供

- ・様々な児童を鑑に様々な事柄に触れる様に創意工夫を図る
- ・特に長期休暇ではその時にしか出来ない療育を行っている。

D 関係機関や保護者との連携

- ・面談や送迎時の保護者との会話を大切にしている。
- ・学校によって急な時間変更が有り対応が困難な場合がある。

F 保護者への説明責任

- ・保護者様には紙面・連絡帳・送迎時に説明を行っている。
- ・保護者会は今年度開催出来なかったが毎年開催を検討している。

保護者による評価

A 環境面

- ・広めの店舗のため、体が大きくなったわが子が遊んでも十分に確保できている。
- ・特定の方だけでなく色々な方と接していただいて、皆さん療育に取り組んでいただいている。
- ・店舗は2階だし、エレベーターもあるので良いと思う。

B 児童への支援内容

- ・色々な活動があり、子供が楽しんでいる。
- ・子どもが考えるレクがあり、良いと思う。
- ・自分でレクを考えるのが楽しいようです。

C 保護者への説明等

- ・送迎の際にお話が出来てありがたい。
- ・以前は会報紙があつて楽しみだったがなくなってしまった。
- ・連絡帳とブログが濃い内容。
- ・LINEで連絡を取れるようにしてほしい。
- ・一度しか他の保護者の方とお会いしたことがない。

D 非常時対応

- ・定期的に避難訓練をして頂いてありがたい。

F 満足度

- ・毎日楽しく通っている。
- ・職員の皆さんがアイデアを出してくれて感謝している。

事業所内での分析

【共通点】

- ・親御様と面談・連絡帳・送迎時などを通して紙面・口頭伝達で共有ができています。
- ・日々の療育に創意工夫を行っている。
- ・活動スペースは決して広い方ではないが児童へのスペースは確保できている。

【相違点】

- ・対面だけでなく伝達方法の幅を広げて欲しい。
- ・保護者会など保護者の参加できる行事を増やしてほしい。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・職員間の連携が取れている。
- ・児童リクエストの療育を取り入れている。
- ・店舗会議を定期的に行っている。
- ・親御様と面談、送迎時、連絡帳などで共有が  
できている。

### 事業所の改善点

- ・保護者会等の実施をしていく。
- ・非常時や災害時の準備やシュミレーション  
を定期的に行う
- ・地域の関連機関と連携を図っていく。
- ・療育やレクリエーションの質を高めてい  
く。

### 事業所の改善への取り組み

- ・保護者会の実施 ⇒ 事業所内で話し合いを設け、実施の検討を行う。
- ・非常時の対応 ⇒ 非常時マニュアルの配布及び周知を行っていく。
- ・関連機関との連携 ⇒ 地域の協議会や交流会へ参加し、定期的に連絡、連携を図る。
- ・療育の質の向上 ⇒ 店舗内での研修を実施。
- ・活動スペースの確保 ⇒ 必要性を明確にして随時、環境整備を行う。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

お忙しい中、自己評価のアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございます。  
日々ご利用して下さっておりますお子様の保護者の方々より貴重なご意見をいただき、参考にさせていただくことにより、より良い事業所に向けて改善に努めることができます。これからも職員が働きやすい環境を整え、利用者様ならびに保護者様が安心して利用できる事業所、地域に密着した過ごしの方でありたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます

事業所名 ライズ児童デイサービス蒔田駅前

担当者 関 泰幸